

# 中東地域安定化のための包括的支援

シリア・イラクの難民・国内避難民数は依然として高い水準。非人道的な状況が継続。

難民受け入れ国の負担も増大。その他、北アフリカ諸国等においても、政治的混乱や若年層の高い失業率等に伴い、暴力的過激主義の拡大が懸念。

人道支援のみならず、中長期的な観点から、貧困や格差、若年層の雇用問題をはじめ、中東地域（※）の復興・開発を後押しすることで、中東不安化の根本原因の解決を促していくことが不可欠。  
⇒安倍総理が打ち出した「中庸が最善」という考えの下、暴力的過激主義の拡大を阻止し、「寛容で安定した社会」を中東に構築するため、2016年から18年の3年間で、**約2万人の人材育成を含む総額約60億ドル**の支援を実施。

## 中東地域への安定化支援

- 難民・避難民に対する人道支援や帰還・定着支援、難民を受け入れている周辺国（ヨルダン、トルコ、レバノン等）への経済開発・社会安定化支援。
- 不安定な国・地域（パレスチナ、イエメン等）における経済開発・社会安定化支援や統治機能向上支援。
- 北アフリカ諸国に対し、人材育成や経済基盤整備を通じ、格差是正や持続可能で包括的な成長を支援。
- 社会不安定化の背景にある若年層失業、地域間格差といった問題に対処するため、公共部門改革、産業振興等を通じた雇用創出、農村開発、教育の質の向上等に資する人材を**3年間で約2万人**育成。

## JICA専門家等の人道支援チーム（注：仮称）の派遣

- JICA専門家等の人道支援チーム（注：仮称）を難民キャンプや受入国・社会に派遣し、人材育成や地域開発等に直接貢献。**3年間で約50名**派遣。  
（例：ヨルダンのシリア難民ホストコミュニティの緊急給水計画策定プロジェクトへの専門家派遣等）

## シリア人留学生の受入れ

- シリア危機により就学機会を奪われたシリア人の若者に教育の機会を提供し、将来のシリアの復興を担う人材を育成する観点から、JICAの技術協力等を活用し、**5年間で最大150名**のシリア人留学生を受入れ。

※シリア、イラク、ヨルダン、トルコ、レバノン、エジプト、チュニジア、アルジェリア、リビア、パレスチナ、イエメン、アフガニスタン、イラン、モロッコを指す。